

(別添資料1)

事業所名

あんあんclass厚別中央ルーム

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		”心から安心してわが子を託すことができるかどうか”という視点で、時代のニーズに合わせてアップデートしながら、”安心・安定”のあんあんとして、常に理想的な療育の実現を目指しております。					
支援方針		1・一人ひとりに合わせた個別支援 2・様々な療育や体験を通じた自己肯定感の向上 3・安定した生活リズムの形成 4・就学、就園に向けた支援・サポート 5・課外活動で健康な心と身体づくりと社会体験 6・関係機関との連携した支援					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	毎日決まった一日の流れを設定する事で、生活に見通しを持ち、落ち着いて活動に参加をしたり、自発的に着替えや片付けなどの身の回りの事に取り組む事により、生活の流れに沿った基本的な生活習慣を身に付けられるように支援します。室内活動だけでなく、戸外遊びも行い身体を十分に動かし、気持ちの発散や体力作りを楽しく行えるようにし、風邪などの病気に負けない身体作りを行います。一人ひとりの生活リズムに合わせながら、トイレトレーニングを行い排泄の自立やクッキングなどの食育体験を通して好き嫌いの改善など生活面での支援も行います。					
	運動・感覚	リトミックやリズム体操などの音楽に合わせて身体を動かす活動を取り入れ、楽しく身体を動かせる支援をします。粘土や、新聞紙などの様々な素材を使った製作遊びを取り入れ、沢山の感触や音などに触れて、豊かな感覚体験が出来るようにします。サーキット運動などの運動遊びを積極的に行い、歩く・走る・跳ぶなどの基本的な動作をしっかりと行い、体幹を養い、身体を動かす事が好きになるような活動を提供します。					
	認知・行動	絵カード等を用いた視覚支援やタイマー等で時間を知らせる聴覚支援など、一人ひとりに合わせキャッチしやすい方法で伝え、指示理解の力を養います。一人ひとりの興味関心を把握し、絵カードや、絵本など興味の持てる教材を通して、ワーキングメモリーを養う課題に取り組み、認知の力や指示理解の力が高まるように支援します。SST（ソーシャルスキルトレーニング）を行い、友だちとの関わりや場面に合わせた気持ちの切り替えなどが出来るように支援します。					
	言語コミュニケーション	絵本やカードなど興味関心を持てる教材を通して、様々な言葉に触れ、意味や音のマッチングや語彙の増幅などが出来るように支援します。一人ひとりに合わせて、言葉だけでなく絵カードやハンドサインなどを用いて、コミュニケーションが出来るように配慮します。言語聴覚士による、より専門的な言語訓練を日常的に行い、語彙の増幅や構音機能の改善などの支援をします。就学に向けた読み書きや数字へのり会など、一人ひとりに合わせた学習支援を行います。					
	人間関係社会性	安定した日課の中で周囲の友だちや指導員と関係を深めたり、信頼関係が出来るように支援を行います。指導員やお友達との関わりを深める中で、自分の気持ちや情緒の切り替えが出来るように支援します。集団に参加する際の約束やルールを一人ひとりに伝え、遊びや集団活動に参加出来る様に社会性の発達を支援します。園外活動を通して、友だちや指導員との関係を深めたり、公共のマナーや交通ルールなど、社会の中で生きていく為に必要なルールを知り、身に付ける事が出来るように支援します。					
家族支援		利用児童やきょうだいの家族での関わりや身の回りの困り事などについての相談を受け、家庭環境の安定化を支援する（来所相談や電話など）			移行支援		幼稚園や保育園、学校等と情報共有を行い、スムーズな移行を支援する姉妹ルーム（放課後等デイサービス）への移行支援 地域の放課後等デイサービスの情報収集と発信
地域支援・地域連携		保育園や幼稚園や学校訪問や見学を通して関係性を構築し、児童の情報共有を行う。必要であれば訪問支援を活用するなど積極的に取り組む 他福祉サービスとは保健士や相談室を中心に連携を図っていく			職員の質の向上		毎月の職員研修やルーム内での周知研修（内2回は虐待・身体拘束に関する研修と感染対策委員会研修） 外部研修への積極的な参加及び外部講師を招いての研修
主な行事等		夏祭り・グループ合同運動会・茶話会・親子レク・クリスマス会・お誕生日会・園外遠足など					